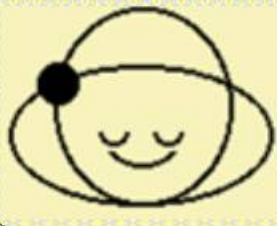


ご存じですか?!人工内耳



あしたのかわら版

一般社団法人
人工内耳友の会 [ACITA] 福岡支部

第27号

2021年1月25日(月)

一般社団法人

人工内耳友の会ACITA

福岡支部

eメール acita.fukuoka@gmail.com

発行責任者 樋口弘行

FAX 092-691-9341



年頭ご挨拶

支部長 樋口弘行

新年明けましておめでとうございます。

皆さま今年の新年は如何お過ごしでしたでしょうか。「おじいちゃん、おばあちゃんの家に行けない!」「いつもは集まる孫や子が来ない!」と寂しい正月を迎えられた方も多いと思います。

・新型コロナの猛威

去年の一月に中国で新型コロナウイルスがはやり始めた頃はMERSやSARSと同じように多分日本は大丈夫だろうと「対岸の火事」と決めておられた方も多かったのではないのでしょうか。私もその一人でした。

ところが人の移動がグローバル化した今日、瞬間間に世界中に拡散してしまいい今、第三波の真の最中。世界中でおよそ一億人が感染し二百万人が死亡しています。新年になってもその猛威

は衰えずついに首都圏に、続いて関西圏、中部圏そして福岡県にも非常事態宣言が発出されました。

終息のためにはもはやワクチンの早期接種以外にないのかもしれない。それまで私たちは可能な限り不要不急の外出を止め三密を避けて感染拡大防止に協力しましょう。

・福岡支部の活動について

新型コロナウイルスの影響で今年度の行事はことごとく中止となりました。四月の総会も始めて郵便による議決としましたし、地下雨水ダムと防災センターの見学会、会員が毎年心待ちにしている恒例バスツアーも中止しました。

せめて新年会だけでもなるとかならないかと期待しましたがそれも叶いませんでした。隔月開催の運営委員会もLINEを使って実施し

ております。

・支部ホームページの開設

そのような状況の下「人工内耳の日」行事として県下の全耳鼻咽喉科医院、特殊支援学校、主要病院、福祉施設等へチラシを配布しました。

《七面「お知らせ」参照 事業計画には上げておりませんが支部のホームページ開設をしました。ホームページについては支部の活動が分かるようにして欲しいとの外部からの要望もあり支部若手女性陣の熱意で八月に開設いたしました。

病院の先生方からも「友の会を紹介するのに便利でとても役立つ」と好評です。今後さらに多くの方への情報提供が出来るよう内容を充実させていきたいと思えます。

・緊急カードの作成

私たちが意識不明など

緊急事態に陥ったときのために緊急カードを作ったかどうかという意見が運営委員会で出されました。緊急事態に備え各人がそれぞれに工夫して何らかの方法をとっておられると思えますが人工内耳装用者用としてのカードは多分ないのでないでしょうか。内容的には五ページを参照していただきたいのですがこのカードの特徴としては、自身が意思表示できない時のために「私は緊急時にMRI撮影を(承諾)します(承諾しません)」と事前に表明しておけるようにしたことです。支部会員の皆さまにはこのかわら版とともにお届けいたします。

・二十一年度事業

これからの検討になりますが基本的には今年度を引き継ぐことになるだろうと思えます。会員の皆さまからも「みんなと早く会えるように」との声がありますが行事再開の折は皆さまのご協力をお願いいたします。

馬耳東風

▼一〇二〇年新語・流行語大賞に「三密」が選ばれた。仏教(密教)における三密とは悟りを得るために必要な知恵であり、自分の行動を見直す、言動を見直す、心の動きを観察することだ▼はやぶさ2のカプセルが十二月地球に戻ってきた「玉手箱を下ろすこと」ができた」と語っている姿が喜びにあふれていて私も少し宇宙に興味を持った▼プロレスラーデビューをはたした礼夢くん(十六歳)は聴覚障害があり二度目のプロテストで合格しリングに立った。

母である今井絵里子参議院議員が手話で応援し通訳をしていた▼ベトナムやネパールでは、コロナの影響で補聴器の会社が閉鎖して補聴器電池の購入やメンテナンスができず難聴児はオンライン授業の聴き取りが難しく理解できないという。▼新しい生活様式を送り有効なワクチンの開発を期待したい。(公)



一般社団法人
人工内耳友の会ACCIETA
会長 井修一

福岡支部の皆様、新年明けましておめでとうございます。支部会員の皆様にはお気持ちも新たに新年をお迎えの事と存じます。昨年を振り返れば、新型コロナウイルス感染症の拡大により、総会の開催やその他の活動にも大きな影響をきたしました。早期に終息し、世界中が元の生活に戻る日が来ることを願ってやみません。平和の象徴であるオリンピック、パラリンピックも一年延期となりました。報道では本年、規模を縮小して実施するという事ですが、どうなる事やらと心配です。今年は自然災害の無い平和な一年となって欲しいと切望しています。一方で、△内耳のプロセッサの修理が補装具の種目に加わるといううれしいニュースもありました。貴支部に於かれましては、

昨年度はホームページの開設、緊急カードの作成など、積極的な活動を展開されており、大変ありがたく思っております。今年度も昨年同様に良い企画を立てて頂ける事を期待しています。ACCIETAとしても保険適用、買い換え時の助成、会員増加への対応策など、解決していかなければならない問題が多々あります。今まで以上に力を入れて取り組みたいと思っております。ACCIETA全体の問題として会員の皆様の協力、ご支援、ご理解が必要です。是非とも皆様のご協力をお願い申し上げます。末筆になりましたが、福岡支部の皆様をはじめ、全国の会員の皆様にとって、この一年がより良い平和な年となりますよう、また、健康とご多幸を心より祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



みなさんは、ご自分の聞こえを周囲にどのように伝えたり、表現したりしていますか？ 私は口頭で、こんな感じで聞かれています。聞こえが聞こえていきませんと伝えることが多いです。周囲の方には、理解していただけていると勝手に思っています。最近はあるがたいこと医療者を目指す学生さんへお話しする機会も増えました。学生さんは、はじめはお会いするのでわかりやすく伝えたいと思いがちです。そのスライドの一部が下記のイラストです。このスライドは学生さんからも分かりやすかったと感想いただきましたので、SNSでも投稿。その際、身近な方が見て「こんな聞こえ方だったの？知らなかった」と驚かれることが多々ありました。周囲の方には自分の聞こえをわかってもらえていると思っておりますが、実は伝わっていません。たことに衝撃を受けました。「伝える」ことではなく「伝える」ことが大切なのですね。



先日、人工内耳仲間福岡支部会員の福田由加里さんから、アメリカでは障がいを持つ人のことを「Hearing (チャレンジド)」と呼ぶと教えて頂きました。調べてみると、語源は「challenged」挑戦という使命や課題、挑戦するチャンス

や資格を与えられた人。障がいマイナスとのみ捉えるのではなく、障がいを持つゆえに体験する様々な事象を自分自身のため、あるいは社会のためポジティブに生かして行こう、という想いが込められた呼称であるとなりました。私は、この考え方が素敵だなと思いましたが、配慮を求めずに、自分から伝えるように発信して理解してもらうことが必要なのだと感じました。自分が変わらなければ周囲も変わらない。聞こえを可視化して伝えるのは伝わりやすいと感じましたので、身近なものを使用して工夫して発信していきたいです。人工内耳友の会ACCIETA福岡支部ではホームページを作成しています。ホームページも上手く活用することで、多くの方に人工内耳について知っていただけると思います。

おくすり手帳
Medicine notebook
Cochlear Implant
人工内耳とは...
人工内耳を使用しています！
口元を見せて読んでください
又は筆談でお願いいたします
なまえ

個人的には、お薬手帳での啓発と理解を考えたりしています。この手帳は薬剤師さんと一緒に考えています。人工内耳をすると私は結構聞き取れるので、急に聞こえなくなると戸惑う方もいらっしゃると思います。最近は何もない状況も理解して頂けるように、人工内耳しない日もあります。人工内耳で聞こえる私、人工内耳がなくて聞こえない私、どちらも私。周囲の方には、なかなか理解は難しいとおもいますが、これからも色々なことにチャレンジして自分の聞こえを発信していきます。「伝える」ことは大切ですが、それ以上に「伝える」ことが大切。伝え方の工夫で、自分だけではなく、周りの方も生きやすい社会になればと思っています。「あじたのかわら版」もその一助となれば幸いですね。



九州大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科学分野 教授
九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 診療科長
中川 尚志

あけましておめでとうい
います。昨年は新型コロナウイルス感
染症拡大という未曾有の事態
に、市民界が巻き込まれ、また
どうなっていくのか、わから
ないまま、新年を迎えている
ことと思います。感染症は黒
魔術ではないので、科学的
な対応を防ぐことができます。
予防をきちんと、周囲の方
へのエチケットを守ることで
大丈夫です。

一昨年(令和元年)の年末
に難聴対策推進協議会が、
Japan Hearing Visionという
提言を行いました。これは昨
年(令和年)の三月三日に
WHOのWorld report on Heari
ngを踏まえ作成された提言で
す。我が国においても、個々
の難聴者(児)に応じた適切
な支援が提供を求める内容で
す。各分野のサイクルに感じ
た難聴対策及びそれを支える
基盤づくりの総合的・体系的
取組が早急に必要という主旨
です。難聴者・ろう者の当事
者団体や日本耳鼻咽喉科学会

をはじめとする難聴・関連す
る学会、難聴者教育に関わる
教育分野、言語聴覚士協会な
ど様々な立場の方より聞き取
りを行い、作成されました。
新年度期、小児期の難聴者支
援と成人期、老年期の難聴者
支援、ライフサイクルに感じ
た難聴対策を支える基盤づく
りと大きく二つのパートの
なっています。詳細はJapan
Hearing Visionを検索する
ネットでもみるようになります。
我が国は三月二日とWorld Heari
ng Dayだったのは、日本の耳
の音をなりました。日本で
行われている「耳の日」は難
聴と言語障害をもつ人への
悩みを少しでも解決したいと
いう、社会福祉への願いから
始められたもので、日本耳鼻
咽喉科学会の提案により、昭
和二十一年に制定されました。
これを受け、福岡県医師会館
の中に福岡県が運営する「福
岡県聴覚障害者支援センター」
が本年一月十五日に設置され
ます。市町村などの自治体で

産科、精密医療機関にある耳
鼻科、療育施設の間を取り持
ち、早期発見・早期療育につ
なげることが目的です。親組
織である県の協議会が会長
長をとしています。小児難聴に
詳しい言語聴覚士の先生が加
わり、一人が週三日勤務し、
当事者の立場に寄り添った相
談にも専門家の立場から応じ
てもいいなっています。
令和二年度の国の事業は、成
人期、老年期の難聴者支援で
す。私は全国レベルでの体制
整備にも関わっています。皆
そまが過してしやすい社会制度
にならねば願っています。
本筆になりましたが、ACI
T Aならびに各委員の皆様およ
び家族の方々の一層の発展
と益々の健康を祈りたいし
ます。今年もよろしく願い
申し上げます。

新年あけましておめでとう
ございます。
久留米大学耳鼻咽喉科・頭頸
部外科の二種完全です。昨年
は新型コロナウイルス感染症
の流行のため皆様も大変な一
年であったと思います。
我々、耳鼻咽喉科・頭頸部外
科は上気道を扱う診療科であ
り、病院の中でも特に感染リ
スクの高い部署の一つです。
三四月頃は感染予防のため
のマスクやカバンなどの供給
が追いつかず、武漢では耳鼻
科医と眼科医の死亡率が高い
という情報もありましたので、
恐ろしい思いをしたながら診療
を行っておりました。
最近になり、ようやく医療材
料の供給は安定し、感染予防
を行いつながら通常の診療が行
えるようになってきました。幸
いにも当科スタッフは一人も
COVID-19に罹患することなく
新年を迎えることができました。

今回の感染症の流行により、
我々の仕事の在り様も大きく
変化した。良かった点で
して、学会や研究会は多くが
web開催になり、参加が容
易になりました。zoomや
Skypeなどのweb会議
システムの普及と発展は、医
療の分野では遠隔診療の普及
につながると思われます。し
かし、感染リスクの低下のた
めに大学の講義のみならず、
医学生にとって最も重要なベッ
ドサイドでの実習までがwe
b講義で代用するようになって
しまったのは、残念で仕方
ありません。これも、世の中
の変化として対応し、彼らが
十分に学べるようにならねば
ならないと考えています。ま
た、動画教材を製作したりwe
b講義システムを使用するサイ
ドバックを行ったりと試行錯
誤しています。診療に関して
も様々な制限が生じました。
△人内耳の手術は上気道の一
部である中耳の粘膜炎をトリル
で撤去しつつながら行う手術
であったため、八月頃までは
一時的に中止しておりました。
疾患の情報がある程度把握で



久留米大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 助教(耳科学)
三橋 亮太

き、術前の患者さんのPCR
検査もど可能となったため、
九月より人内耳植込手術
を再開しております。人内
耳の手術時期が遅くなったこ
とは患者さんにとっては不利
益であったかもしれませんが、
手術再開と時期を同じくして
コアラ社がニテスラのMR
Iに対応した軸回転接点電
極を発売しました。その後の
手術を受けられた患者さんに
対しては、MRI撮影に関す
る制限が緩和されたことは不
幸中の幸いであったと思いま
す。今後も電極やプロセスサ、
周辺機器の進歩が患者さん
のよりよい聴取環境につな
がることを期待しています。当
科としても遠隔マッピングの導
入などを検討し、患者さんの
負担を減らし、よりよいサポ
ート体制が作れるように取り組
んで参りたいと思います。
最後に、この一年皆様様とっ
て素晴らしい一年になります
ようにお祈りし、私からの挨拶
とさせていただきます。





福岡大学医学部 耳鼻咽喉科学教室
主任教授 坂田俊文

としまふみ



産業医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
教授 鈴木秀明

ひであき

新年あけましておめで
とうございます。本年も
何卒よろしくお願い申し
上げます。

日本で新型コロナウイルス
との戦いが本格化し
てから一年近くになりま
す。昨年の今頃は世の中
がこれほどウイルスに振
り回されるとは想像でき
ませんでした。

息苦しい生活を余儀なく
されている皆様も多いこ
とと思われ、心からお見
舞い申し上げます。

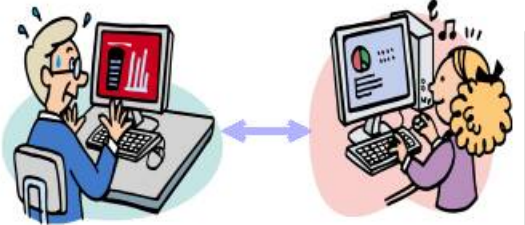
さて、私の所属する福岡
大学病院耳鼻咽喉科では、
医師、看護師、言語聴覚
士とも今のところ感染者
が出ておりません。三密
の回避、マスクの着用、
会食の回避を徹底して励
行していることが功を奏
していると思われます。
しかしながらプライベ
ートでは少なからず風評被
害を経験している人がい
ます。

ウイルスに感染した方や
そのご家族が経験される
ものと同種です。

具体的な内容は割愛させ
ていただきますが、マス
コミでよく報道される類
いのもので、一〇〇年前
のスペイン風邪流行の折
りにも多かったようです。
そのような差別的行動は
恐怖と情報不足によって
生み出され、人が本能的
に備えている排他性や、
信じた事しか信じない
といった性質が強く関わっ
ています。

このような負の本能行動
を回避させるためには、
コミュニケーションと正
しい情報が不可欠であり、
私たち医療者にはそれを
啓発する積極責務がある
と考えています。

しかしそれだけでは十分
といえません。ACIT
Aの会員諸氏を含め、よ
り多くの方々に理解し協
力していただくことが望
まれます。新新型コロナウイルス
に対しては、日本国
民の誰もが例外なく被害
者であり共に戦う同志で
あるという意識を持って
いただけることを願うば
かりです。



新型コロナの影響でテレワークが
一気に加速しています！

年末になりましたが、
会員諸氏ならびにご家族
のご健勝を心よりお祈り
申し上げます。

会合で直接お会いでき
る日を楽しみにしており
ます。

初めてご挨拶申し上げ
ます、産業医科大学の鈴
木と申します。二〇一七
年より人工内耳手術の分
野に新規参入いたしました。
それ以前は九州大学
病院や福岡大学病院へ患
者さんをお願いしており、
中川教授や小宗前教授に
は大変お世話になりました。
二〇一七年以降、こ
れまでに、特発性難聴、
ムンプス難聴、突発性難
聴、髄膜炎後難聴などの
患者さん十五症例に埋込
術を行ってきました。ま
た二〇二〇年三月に、人
工中耳手術についても施
設認定を受け開始いたし
ました。北九州地区は政
令指定都市の中でも特に
高齢化が進んでおり、感
音難聴の方や中耳炎によ
る混合性難聴の方で十分
な治療を受けていない患
者さんが多く潜在してい

ると感じています。
さて昨年はとにかく新
型コロナウイルスで明け
暮れた一年でした。毎夜
のニュースで、各都道府
県、特に福岡県、北九州
市の新患者数をチェック
するのが習慣となってい
ました。こうした中
で難聴の患者さんたちが
困っているのは、やはり
皆マスク越しにしか話を
することができないとい
うことでしょうか。口元
の動きが見えないと語音
の間き取りが格段に障害
されるとい、教科書で
学んだことを直に感じる
昨今の状況です。このよ
うな状況ですので、難聴
の患者さんへの説明も大
変です。図や筆談を織り
交ぜても、十分に理解し
ていただくことの困難さ
を感じています。耳鼻科
医であるからには手話を
勉強しなければならぬ
のではないかと、今回の

コロナ禍は思わせてくれ
ます。

コロナ禍の影響はこの感
染症自体によるものに加
えて、他の病気の治療が
妨げられるという側面が
あります。致死的ではな
い病気の治療はどうし
てもあと回しになりますの
で、難聴の治療も優先順
序が下がってしまいます。

首都圏では癌の患者さん
の治療さえも一部滞って
いるとのこと、憂慮すべ
き事態です。福岡県内は
まだそのような危機的な
状況には到っていません
が、いつ大きな流行がやっ
て来るか、予断を許しま
せん。院内感染防止に万
全の体制と細心の注意で
臨み、ワクチン接種が普
及して集団免疫が獲得さ
れるまでの間、何とかフ
ルの医療体制を維持して
いきたいものです。

今年もどうぞよろしくお
願い申し上げます。

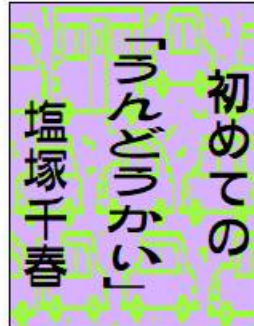


福岡市立こども病院 耳鼻いんこう科
科長 柴田 修明

あけましておめでとう
ございます。福岡市立こ
ども病院耳鼻いんこう科
診療科長の柴田修明と申
します。

福岡市立こども病院は、
一九八〇年九月に西日本
唯一の小児総合医療施設
として開院後、二〇一四
年秋に福岡市東区アイラ
ンドシティ昭葉へ移転し、
昨年開院四〇周年を迎え
ました。もともと当院は
新生児聴覚スクリーニン
グ検査後の日本耳鼻咽喉
科学会指定精密検査機関
であり、先天性難聴のお
子さんが集まってくる病
院でしたが、精査後の難
聴診療についてはマンパ
ワーの問題もあり充分と
は言えない状況でした。
私は二〇一五年四月より
耳鼻咽喉科長として赴任
しましたが、九州大学病
院耳鼻咽喉科にて小児難
聴を専門にしていた経験
を活かし、当院での難聴
のお子さんの診療体制の
拡充に努めて参りました。

二〇二〇年は新型コロナ
ウィルス一色に塗り潰さ
れて鬱々とした年でした
が、二〇二一年は明るい
良い年となるよう心から
願っています。



初めの
「しゅんごかい」
塩塚千春

明けましておめでとう
ございます。
人工内耳を装着している
塩塚真央の母です。
前回かわら版に投稿させ
ていただいたときは、真
央はまだサーピス付高齢
者専用住宅の中にある、
託児所に通っていました。
四月に年中さんになり、
地域のこども園に入園し
ました。入園したものの、
二週間で新型コロナウイルス
ルズ感染拡大防止のため、
休園になりました。六月
からやっと通園がはじま
り、少しずつ園での生活
に慣れているようです。
仲良しのお友だちの名前
も出てきますし、お世話
したり、お世話されたり
楽しく過ごしています。

男の子向土でテラシで作っ
た剣を振り回して、戦っ
ているようです。加配で
真央に付いて気にかけて
くれている先生は、若く
て可愛らしく、真央も懐
いているようです。《加
配》障害児の保育を充実
させるため特別な支援と
して保育士を追加で配置
すること》

十月の台風の影響で風
が強い日、はじめての運
動会がありました。土曜
日はいつも休みなのに、
園のみんなと会えて、少
し不思議そうであり、楽
しさいっぱいで登園して
きました。綱引き、障
害物競争、リズム、かけ
こなどの競技を応援しま
した。息子の成長と、た
くましさが見れて嬉しい
一日でした。
当の本人は、二つくらい
競技が終わった頃から、
「まだ終わらないの？」
「まだ終わらないの？」
と先生に聞いていたそう
で、だいぶ早い段階で運
動会に飽きていたよう
でした。
年長の運動会は、タオル
なしでは見られないかも
しれません。



緊急カードを
作成しました
事務局 吉川くにえ

私は支部事務局を担当
している吉川くにえと申
します。九大病院で人工
内耳装着して五年になり
ます。家は田舎で静かな
所ですが、買い物には不
便で車が必須、四十年以
上無事故で運転していま
すが心配な事があります。
例えば運転中に事故を起
こしたり頭を怪我して意
識不明になり指定の病院
名、人工内耳装着者であ
ることを伝えることが出
来ずに病院に運ばれる事
です。
車の後部窓には聴覚障害
者マークを貼っています
が人工内耳装着者とは分
かりません。運転にかぎ
らず通学途中や散歩中に
事故にあったり、農作業
中に転倒して頭を怪我す
ることもありえます。会
員の皆様も同じ気持ちを持
っておられる方が多い
のではと思います。支部運営委
員会に諮り検討の結果、
緊急カードを作成する事
になりました。保険証や
免許証、お薬手帳、子供

さんは連絡帳、学生さん
はカバンや名札ケース、
携帯カバーポケット等に
入れると一般の方に気付
いてもらい易い手袋だ
と思います。人工内耳友
会「会報」にも掲載され
ています。カクタツムリ
クもデザインしました。
裏面は緊急連絡先を記入
できるようにしています。
福岡支部会員の皆さま
へ「あしたのかわら版」
と一緒に届けたいしま
すのでご利用ください。
緊急時のMRI撮影承諾
か否かは福岡支部ホー
ムページQ&Aコーナーを
よく読んで上で各自判断
してください。



耳が不自由です
少し大きく、ゆっくり
話してください
—人工内耳装着者—

緊急連絡先	
本人	氏名
緊急時	氏名
緊急時	氏名
人工内耳	所属科
後援機関	所属科

●私は緊急時CMR撮影に同意します。(同意しません)

裏表

薬をもらうときに 聴覚障害で 困ること

第一薬科大学
地域医療薬学センター
教授 俵口 奈穂美
ひょうぐち なおみ

薬局で薬をもらう時に、順番が来たことを名前前で呼ばれる、耳元で大きな声で話しかけられるなど、聴覚障害に配慮した対応ができていないと感じたことはありませんか。聴覚障害について正しい理解ができていないと、患者さんへ正しい対応ができません。患者さんが正しく薬を使うことができるのですが、実際薬剤師はどのくらい聴覚障害について理解し、障害への配慮を行っているのでしょうか。そこで、昨年薬局の薬剤師二一六名を対象として、聴覚障害と配慮の理解についての理解と配慮の実践がどの程度できているか調査しました。

義語の区別が難しいと薬剤師が理解していれば、「五分経ってから」と正しく伝えることができます。

聴覚障害を理解すること、薬剤師は聴覚障害のある患者さんへ正しい対応ができて、患者さんが正しく薬を使うことができるのですが、実際薬剤師はどのくらい聴覚障害について理解し、障害への配慮を行っているのでしょうか。そこで、昨年薬局の薬剤師二一六名を対象として、聴覚障害と配慮の理解についての理解と配慮の実践がどの程度できているか調査しました。

一 聴覚障害と配慮の理解
聴覚障害と配慮に関する十二項目について、薬剤師に知っているか調査した結果を図一に示しています。

合理的配慮を知っている
障害者差別解消法を知っている
手話の文法は話し言葉と異なる
読話では前後の言葉などから類推している
同伴者がいても本人に説明する必要がある
聴覚障害によって文章理解力には個人差がある
大きな声で話すのは有用ではない
耳元で話しても有用ではない
薬の説明書を渡すだけでは理解できないことがある
手話は話し言葉をそのまま表していない
読話で一文字ずつ話しても伝わりづらい
コミュニケーション方法が個人によって異なる
読話の読み取りが難しいことがある

二 聴覚障害への配慮の実践
聴覚障害への配慮十五項目について、薬局で実践しているか調査した結果を図二に示しています。

耳マーク設置している
明るいところで話す
同音異義語の区別ができるように説明する
抽象的な表現は避ける
電話以外の連絡方法を伝える
文節で区切って話す
患者さんの希望するコミュニケーション方法を確認する
名前を呼ぶ以外の呼び出し方法を行っている
マスクを外して話す
患者さんに聴覚障害があることを薬局で共有する
大きく口をあけゆっくり話す
顔を向けて話す
専門用語は筆談する
本人に向かって話す
文字情報での工夫

「目を開けて」なのか、五分「時間を空けて」なのか区別がつかず、じっと目を五分間開けようとしていたという勘違いも起きます。このとき、読話では同音異

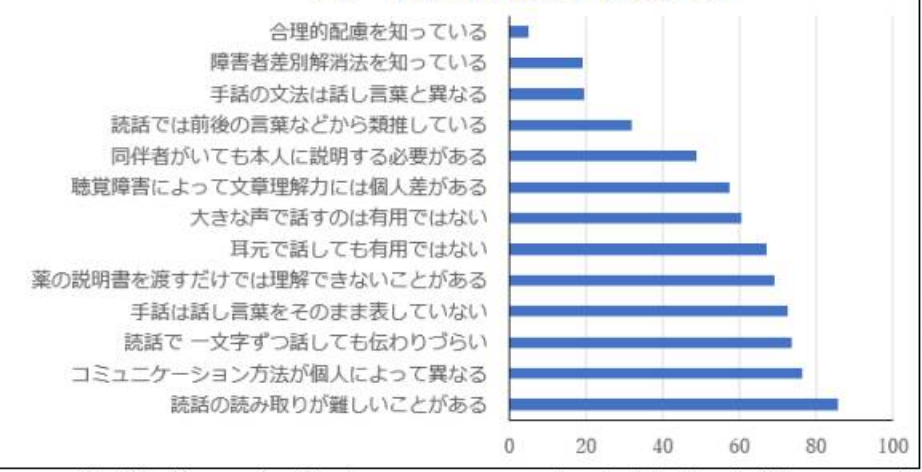
義語の区別が難しいと薬剤師が理解していれば、「五分経ってから」と正しく伝えることができます。

聴覚障害を理解すること、薬剤師は聴覚障害のある患者さんへ正しい対応ができて、患者さんが正しく薬を使うことができるのですが、実際薬剤師はどのくらい聴覚障害について理解し、障害への配慮を行っているのでしょうか。そこで、昨年薬局の薬剤師二一六名を対象として、聴覚障害と配慮の理解についての理解と配慮の実践がどの程度できているか調査しました。

一 聴覚障害と配慮の理解
聴覚障害と配慮に関する十二項目について、薬剤師に知っているか調査した結果を図一に示しています。

合理的配慮を知っている
障害者差別解消法を知っている
手話の文法は話し言葉と異なる
読話では前後の言葉などから類推している
同伴者がいても本人に説明する必要がある
聴覚障害によって文章理解力には個人差がある
大きな声で話すのは有用ではない
耳元で話しても有用ではない
薬の説明書を渡すだけでは理解できないことがある
手話は話し言葉をそのまま表していない
読話で一文字ずつ話しても伝わりづらい
コミュニケーション方法が個人によって異なる
読話の読み取りが難しいことがある

図1 聴覚障害と配慮の理解度 (%)



(二十%)、読話では話されている内容を前後の言葉から類推していることを知っている(二十二%)と、薬剤師の手話や読話についての理解が不足していることが分かりました。

二 聴覚障害への配慮の実践
聴覚障害への配慮十五項目について、薬局で実践しているか調査した結果を図二に示しています。対象となった薬局二百十六店舗では、耳マークは設置されていませんでした。同音異義語の区別ができるように説明する(十%)、電話以外の連絡方法を伝える(十六%)と、配慮が出来ていないことが分かっています。薬局でもらった薬について薬剤師に尋ねようとしても、聴覚障がい者の方は電話以外の連絡方法がないと連絡が出来ません。急いで連絡する必要がある時も、もちろんあります。このように、配慮が出来ていないのは、薬剤師が聴覚障害を十分に理解していないことが要因に

図2 配慮の実施率 (%)



で、次に昨年十月にACI-TAの会員二十四名を含む聴覚障がい者百三十一名の方を対象として、「薬剤師の薬の説明で難しいと感じる言葉」「薬剤師の対応で困ること」についてアンケート調査を行いました。やはり、「五分あけて薬を使う」、「薬は多め

力をお願い致します。

なっていると思われます。薬剤師の聴覚障害の理解や配慮不足が分かりました。この水で飲む」など抽象的な表現が分かりにくいこと、さらに半数以上の方が薬剤師の対応で困っていると回答されました。アンケートにご協力下さりありがとうございました。現在、薬剤師と聴覚障がい者の方へのアンケート結果をもとに、薬剤師が聴覚障害について学習する教材と、聴覚障がい者の方と薬剤師とのコミュニケーションを助ける「コミュニケーションツール」を作成しています。今年の秋に完成の予定です。完成後には、聴覚障害の教材とコミュニケーションツールの有用性についても調査を行う予定です。薬を正しく安心して使えるように、薬剤師とのよりよい会話のために、「コミュニケーションツール」の有用性の調査にもご協力をお願いします。



Member's Profile (23)

な が ま つ み き こ 子 さん
永松美岐子さん
(北九州市八幡西区 在住)

「私の声がきこえますか?」という言葉がはつきり聞こえ、以後、後遺症もなく順調に回復してきます。私は若いころから両耳の聴力が少しずつ低下。内耳に原因がある感音性難聴で現在の医学では治りませんと言われました。

明けま 報は何もなく途方に暮れ
しておめ していましたが進行がゆっ
でとうこ くりだったので何とか工
ざいます。 夫して年を取っていきま
北九州市 した。中耳炎の後遺症で
の郊外 はと言われたこともあり
(田舎) ますが原因ははっきりし
で暮らし ません。四十才の頃から
ています。 右耳に補聴器を使い始め
二〇一八 ました。補聴器の音が嫌
年七月六 いで必要な時につけるの
十六才の み。五十一才の時左右七
時、九州 十〜七十五デシベルくら
大学病院 いで障害六級に認定。五
で右側に 十四才の時、左耳だけ急
人工内耳 に失聴。六十三才右耳も
埋め込み 四日間で失聴。すぐに、
手術をし 医者から人工内耳を勧め
ました。 られました。
三日後に 多少、人工内耳の知識は
音入れを ありました。が頭の中に出
し、先生 来ない理由が点滅。
の「私の声 歳を取っての手術が怖い。
か?」とい 一人暮らしの母の世話。
きり聞こえ、 主人は二年前に急逝。
症もなく順 子供二人は遠方住まいの
調に回復して 一人暮らし等々で決断を
きます。私 先延ばしにしました。
は若いころ 一年後、六十四才の時、
から両耳の 左目が網膜剥離を発症。
聴力が少し 失明の危険のため、即、
ずつ低下。 入院手術となりました。
内耳に原因 説明では成功率九十五%

だったのに失敗。二回目
の手術で成功しました。
その時、盲ろうになる危
険を感じました。また、
メディアで人生二〇〇年
時代の到来とニュースに
なっていました。とうと
う人工内耳の手術を決心
し自分が作ったバリアを
超えて手術にたどり着き
ました。五〇代で補聴器
をつけた聞こえ方より今
の方が言葉がはっきり聞
き取れています。九大の
先生の紹介でACITTA
の会に手術後、すぐに入
会しました。
いろいろな情報が得られ
てとても安心感がありま
す。また去年の新年会へ
一回だけの参加ですが博
多まで出かけて博多の街の
そぞろ歩きも楽しみのひ
とつです。
今はコロナでそれも難し
いですが、近いうち終焉
することを願っています。



お知らせ

九月九日の「人工内耳
の日」にちなむ福岡支部
の行事は人工内耳を身近
に感じてもらえるよう分
かりやすい内容のチラシ
を作成し、福岡県耳鼻咽
喉科専門医会(会長・村
塚幸穂先生)の全面的ご
協力のもと福岡県下全耳
鼻咽喉科医院及び特別支
援学校、福祉施設、主要
病院へ配布しました。
チラシのデザイン・作成
は山本美裕紀さんが主担
当となり九〇〇〇部を作
成しました。



会員の動き

昨年度の会員の動向は
新入正会員四名、新入賛
助会員一名、併せて五名
で退会者はありません。
現在の会員数は
正会員 三十五人
賛助会員 七人
合計 四十二名
となり都道府県別では八
番目の会員数となりました。
これは先生方が積極
的に友の会の紹介をして
いただいているお陰であ
ります。
さらに産業医科大学、福
岡こども病院でも手術が
開始されたことで今後さ
らなる正会員の増加が期
待できます。正会員五十
名の夢も現実に近いとい
えました。
又手術病院ごとでは
九大病院 二十一名
福大病院 四名
久留米大病院 四名
こども病院 一名
県外病院 五名
となっております。
昨年の新入会員は次の通
りです。《敬称略》

正会員(四名)
日高聡一(久留米市・
久留米大病院)
土井祐飛(北九州市・
こども病院)
嶋田博文(福岡市・
九大病院)
中山茂幸(みやこ町・
九大病院)
賛助会員(一名)
賀数康弘(福岡市・
開業医)



コロナ禍で当支部の年
間行事がほとんど中止に
追いやられる中、かわら
版も発行が危ぶまれてい
た。そのような状況下で
年に一度のかわら版発行
を楽しむに待ってくれて
いる会員がいるので絶や
す訳にはいかないと声を
上げ編集委員会をたちあ
げ会議を重ねた。今まで
は、支部長が企画、原稿
依頼、印刷手配まで一人
でやり遂げていた事を各
自役割を分担して発行ま
でたどり着きました。皆
さんの協力で感謝(若)

《敬称略》



Hear now. And always

コクレアは、人々が何を必要としているかを考えて技術革新に努めています。それは、グレアム・クラーク教授が自身の父親が難聴で苦勞する姿をきっかけに、世界初のマルチチャンネル人工内耳の開発を始めた時から受け継がれています。

そのため、私たちの製品・サービス・サポートは常に進化・向上し続けています。コクレアは人工聴覚器のリーディングカンパニーとして、より良い聴こえと革新的な最先端技術を提供するために最大限の企業努力を図って参ります。

www.cochlear.com

難聴の治療については、医療従事者にご相談ください。聴こえや結果は装用者によって異なりますので、医療従事者が装用結果に影響を及ぼす可能性のある要因についてアドバイスします。使用については必ず取扱説明書をお読みください。国によっては販売されていない製品があります。お近くのコクレアの担当者に連絡して製品情報を確認してください。Cochlear、コクレア、「Hear now. And always」、楕円形のロゴ、および、[®]または[™]の記号の付されたマークは、別段の記載がない限り、Cochlear Limitedの商標または登録商標です。
©Cochlear Limited 2020. Japanese translation of D1772999 V1 2020-08



Cochlear[®]
Hear now. And always